

2015 年上半期の日中貿易

2015 年 8 月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5181

E-mail：ORG@jetro.go.jp

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

2015年上半期の日中貿易(双方輸入ベース)

～輸出入とも2桁減、輸入減が輸出減を上回り赤字は縮小～

JETROが財務省貿易統計と中国海関統計を基に、2015年上半期の日中貿易を双方輸入ベースでみたところ、総額は前年同期比12.1%減の1,480億4,567万ドルで、上半期ベースでは減少に転じました(注)。

輸出(中国の対日輸入、以下同じ)は10.8%減の695億3,798万ドル、輸入は13.1%減の785億769万ドルとなりました。

輸入の減少額が輸出の減少額を上回り、その結果、日本側の貿易赤字は前年同期比27.4%減少の89億6,970万ドルとなりました。赤字は半期ベースで2012年上半期以降7期連続となります。

この分析は、日本の対中輸出を中国の輸入統計でみる「双方輸入ベース」となっております。これは貿易統計が輸出を仕向地主義、輸入を原産地主義で計上しており、香港経由の対中輸出(仕向地を香港としている財)が、日本の統計では対中輸出に計上されないためです。中国の輸入統計には日本を原産地とする財がすべて計上されることから、両国間の貿易は双方の輸入統計のデータがより実態に近いと考えました。なお、中国の輸入統計はドルベース、日本の輸入統計はGlobal Trade Atlasによるドル換算値を用いております。

<調査結果のポイント>

1. 2015年上半期の特徴

(1)輸出:円安による価格効果もありドルベースでは減少へ、2009年上半期以来の700億ドル割れ

上半期ベースでは前年同期に3年ぶりに増加した輸出は、円安の進展を受け、ほぼすべての品目で減少し、前年同期比10.8%減の695億3,798万ドルと再び減少に転じた。構成比最大品目の電気機器は、光電池や電気回路等の機器が減少する一方、ICと通信機が増加し全体としては前年並みであった。輸送用機器は、乗用車が前年同期の5割を超える伸びから一転して金額・数量ともに3割減となった。一般機械は軒並み減少、なかでも繊維機械、原動機の減少幅が大きかった。

【品目別の特徴】

- ① 乗用車の輸出台数は、中国における乗用車販売の伸び鈍化を反映し、2014年上半期の5割を超える伸びから一転して26.4%減少した。
- ② 有機化合物は、合成樹脂や合成繊維など石油化学製品に使われるパラキシレン、プロピレン、エチレンなどが、数量は増加したものの、原料の原油価格の下落にアジアを中心とした世界的な生産能力増強が重なった結果として単価が3割低下し、輸出額は22.2%減少した。
- ③ 鉄鋼は、数量の減少に加え、国際価格の低下もあり、輸出額は18.1%減少した。
- ④ 中国で生産されるスマートフォン向け部品の高機能化・高価格化を反映し、通信機(部品を含む)、ICがそれぞれ26.6%、9.8%増加した。

(2)輸入:円安、前年同期の駆け込みの反動で減少へ

輸入も、ほぼすべての品目で減少し、前年同期比13.1%減の785億769万ドルとなった。前年上半期に消費増税やウィンドウズXPのサポート終了による駆け込み需要で2桁増だったノートパソコンなどの携帯用自動データ処理機械が3割減少、構成比の高いスマートフォンなど携帯電話端末は1割減少した。2014年に急増した鉄鋼は2割減少、衣類・同付属品も中国の生産コスト上昇によるASEANへの生産拠点の移管が続き、1割減少した。

【品目別の特徴】

- ① 前年同期に同年4月の消費増税やウィンドウズXPのサポート終了を前に駆け込み需要が発生したノートパソコンやタブレット型端末が、数量が2割減少、単価が1割低下し、金額で30.8%減少した。
- ② 衣類・同付属品はドレスやジャケット、スーツといった付加価値の高い品目においても、中国からベトナム、インドネシアなどへ一部生産移管が進み、前年同期に続く2桁減(14.0%減)となった。日本の衣類・同付属品輸入における中国の構成比は66.4%(前年同期は69.9%)だった。一方、ベトナムは10.0%(同8.5%)、

インドネシアは3.5%(同3.1%)に拡大した。

- ③ スマートフォンを中心とする通信機は、数量は横ばいであったが金額では9.1%減少した。
- ④ 鉄鋼は、震災復興需要により2014年上半期の水準が高かったことと、中国で2015年1月に鉄鋼製品に対する輸出増値税還付を廃止する前にみられた駆け込み需要の反動減で、24.9%減少した。

(3)対中貿易収支:7期連続で日本側の赤字

対中貿易収支は2012年上半期以降7期連続で日本側の赤字となった。輸入の減少額が輸出の減少額を上回り、その結果、日本側の貿易赤字は前年同期比27.4%減少の89億6,970万ドルであった。

2. 2015年通年の見通し：輸出入ともに減少幅は縮むが通年ではマイナス

(1)輸出:

- ① 有機化合物や鉄鋼は、原油をはじめとする資源価格の低迷や中国での生産拡大により、日本からの輸出は減少傾向が続くとみられる。
- ② 乗用車は、中国の輸入車の在庫水準が高いこと、日系メーカーの現地生産が進んでいることなどから、減少傾向が続くとみられる。
- ③ スマートフォン関連は、マシニングセンタなどの工作機械についてはスマートフォン特需で急増した2014年と比べると減少するものの、日本企業が得意とする高機能のICをはじめとする電子部品・デバイスはスマートフォンの小型化・省エネ化により堅調な増加が見込まれる。

(2)輸入:

- ① 衣類・同付属品は、中国における人件費の高騰等を背景に低賃金国への生産移管が進んでいるなか、2015年4月から後発開発途上国(LDC)特恵関税制度の変更(ニット製衣類の原産地規則緩和)が始まり、バングラデシュ、カンボジア、ミャンマー等LDCへの生産移管がさらに進むことが予想されるため、中国からの輸入は減少基調で推移するものとみられる。
- ② 通信機は、米スマートフォン大手の新型機種が発売が計画されていることから、年末にかけて増加が見込まれる。
- ③ 2014年4月のウィンドウズXPのサポート終了や消費増税による駆け込み需要の反動減が2015年上半期に生じたパソコンは、下半期は日本国内の需要が回復に向かうとみられる。

(3)貿易総額および収支:貿易総額は減少し、4年連続の貿易赤字に

これらを勘案すると2015年の貿易総額は減少に転じるものとみられる。輸入が輸出を上回る状況は変わらず、対中貿易収支は4年連続赤字となる可能性が高い。

3. 日本の輸出に占める中国の構成比は、米国に次ぐ2位(財務省貿易統計)

日本の貿易総額における中国の構成比は20.6%と、2014年通年に比べ0.1ポイント拡大した。輸出は17.1%で1.2ポイント縮小、輸入は23.9%で1.6ポイント拡大した。日本の対世界貿易において中国は、貿易総額と輸入額では引き続き1位となっている。なお、輸出は2013年に米国に抜かれてからは2位となっている。

(注)財務省貿易統計の円ベース(輸出確報、輸入9桁速報)では、総額が15兆9,060億円(2.0%増)、輸出が6兆4,730億円(2.2%増)、輸入が9兆4,330億円(1.9%増)。

- 発表者:中国北アジア課長 箱崎 大
- 担当部課・担当者:海外調査部中国北アジア課 (日向) 電話:03-3582-5181
- 別添資料:品目別輸出动向、品目別輸入動向、図表編

以上

＜品目別輸出動向＞

～円安を受けドルベースでは軒並み減、2009年上半期以来の700億ドル割れ～

半期ベースとしては前年同期に3年ぶりに増加に転じた輸出総額は、前年同期比10.8%減の695億3,798万ドルと再び減少に転じた。ほぼすべての品目で減少し、なかでも前年同期に2桁増を示した自動車を中心とする輸送用機器、一般機械の減少幅がそれぞれ26.1%減、13.2%減と大きかった。構成比で最大品目の電気機器は、光電池や電気回路等の機器が減少する一方、ICと通信機が増加し全体としては前年並みであった。

対中輸出に占める上位5品目は、①**電気機器**（187億3,136万ドル、同0.1%減、構成比26.9%、寄与度▲0.0）、②**一般機械**（129億8,722万ドル、同13.2%増、構成比18.7%、寄与度▲2.5）、③**化学製品**（108億8,776万ドル、同13.1%減、構成比15.7%、寄与度▲2.1）、④**原料別製品**（94億3,944万ドル、同13.4%減、構成比13.6%、寄与度▲1.9）、⑤**輸送用機器**（60億1,170万ドル、同26.1%減、構成比8.7%、寄与度▲2.7）となった。

＜主要品目別動向＞

① 電気機器（187億3,136万ドル、前年同期比0.1%減、構成比26.9%、寄与度▲0.0）

・半導体等電子部品（77億4,067万ドル、同3.6%増、構成比11.1%、寄与度0.4）

うちIC（56億9,806万ドル、同9.8%増、構成比8.2%、寄与度0.7）

ICは、DRAMやフラッシュメモリーなどの記憶素子が3割増加したが、プロセッサおよびコントローラーは微減、光電池は18.4%減だった。

・電気回路等の機器（31億5,634万ドル、同4.0%減、構成比4.5%、寄与度▲0.2）

印刷回路は1割増となったものの、スイッチ、電気抵抗器、電気制御用・配電用のパネルなどが減少したため、同品目全体では減少した。

・通信機（14億8,266万ドル、同26.6%増、構成比2.1%、寄与度0.4）

主要品目である携帯回線・無線回線用を含む電話機が3割増、電話機およびその他の機器の部分品は数量が2割減となったが、単価が7割上昇したため金額では3割増となった。理由として、スマートフォン向けの部品供給が引き続き好調であったことが挙げられる。

・重電機器（14億7,797万ドル、同4.3%減、構成比2.1%、寄与度▲0.1）

同品目の3割を占めるスタティックコンバーターが1割減となったほか、電動機、発電機および電動機の部分品も減少した。

・音響・映像機器の部分品（5億4,529万ドル、同3.5%増、構成比0.8%、寄与度0.0）

主要品目であるプロジェクター・レーダー・テレビ・ラジオ用送受信機などの部分品が増加した。

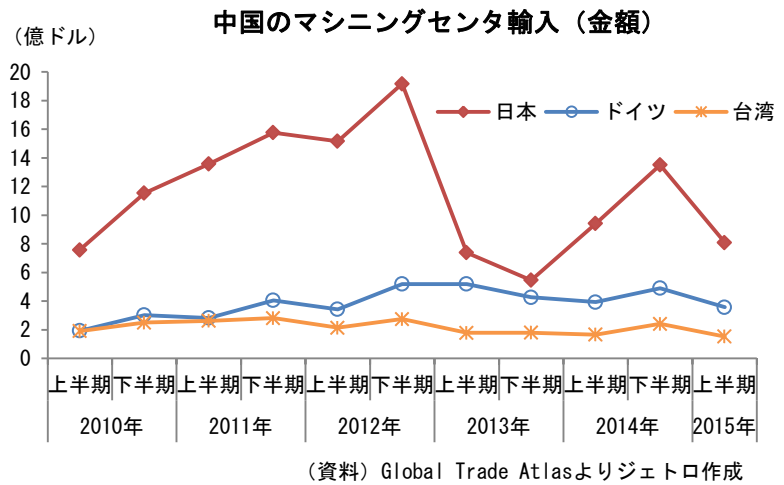
② 一般機械（129億8,722万ドル、同13.2%増、構成比18.7%、寄与度▲2.5）

・金属加工機械（14億6,264万ドル、同12.3%減、構成比2.1%、寄与度▲0.3）

同品目の5割強を占めるマシニングセンタが数量が減少、単価も低下し1割減となった。鍛造機は金額が2割増加した。

＜マシニングセンタ：2015年通年は減少幅拡大か＞

日本の対中金属加工機械輸出（中国輸入統計ベース）の6割を占めるマシニングセンタは前年同期比14.1%減の8億853万ドルと落ち込んだ。2014年の急増（78.4%増）はスマートフォン特需によるものであったが、最近では中国向けのスマートフォン関連受注の落ち込みによって業績悪化を見込む工作機械メーカーも出ている。2014年は下半期にかけ増加がみられたため、2015年は通年の減少幅が上半期より拡大することが予測される。



- ・ 電算機類の部分品（13億166万ドル、同10.2%減、構成比1.9%、寄与度▲0.2）
同品目の8割を占める印刷機など事務機の部分品、自動データ処理機などの部分品および付属品が減少した。
- ・ 原動機（12億8,245万ドル、同22.4%減、構成比1.8%、寄与度▲0.5）
エンジンの部分品、ディーゼルエンジン、その他の原動機がそれぞれ2桁減となった。
- ・ 荷役機械（3億6,358万ドル、同30.3%減、構成比0.5%、寄与度▲0.2）
前年同期に4割増だった昇降機（乗用）が数量は前年同期並みで単価が低下したため5割減、部分品が6割減となった。
- ・ 建設用・鉱山用機械（2億6,722万ドル、同19.1%減、構成比0.4%、寄与度▲0.1）
主要品目であるメカニカルショベル、エクスカベーター（油圧ショベル）およびショベルローダー（上部構造が360度回転するもの）は、数量は前年同期並みで単価が低下したため、2割減となった。
- ・ 繊維機械（2億5,528万ドル、同62.7%減、構成比0.4%、寄与度▲0.6）
織機（7割減）、編機（4割減）、人造繊維の紡糸機等（8割減）、紡績準備機械ならびに精紡機等（6割減）など、幅広い品目で大幅減となった。

③ 化学製品（108億8,776万ドル、同13.1%減、構成比15.7%、寄与度▲2.1）

- ・ プラスチック（38億8,727万ドル、同10.7%減、構成比5.6%、寄与度▲0.6）
原料価格の下落により単価が低下したため減少した。
- ・ 有機化合物（35億2,045万ドル、同22.2%減、構成比5.1%、寄与度▲1.3）
同品目の3割を占めポリエステルの中間原料であるテレフタル酸（PTA）の原料となるパラキシレンは、単価の低下により金額が3割減となった。合成樹脂や合成繊維の原料となるプロピレンは、数量が2割増となったが単価が3割低下したため金額は2割減となった。単価低下の要因としては、中国など各国での増産による需給緩和や原油・原料化学品価格の下落が挙げられる。

④ 原料別製品 (94 億 3,944 万ドル、同 13.4%減、構成比 13.6%、寄与度▲1.9)

- ・鉄鋼 (29 億 1,419 万ドル、同 18.1%減、構成比 4.2%、寄与度▲0.8)

同品目の 2 割を占め自動車用鋼板の母材となる熱間圧延鋼板は、数量では微増となったが単価が 2 割低下したため、金額では 2 割減となった。合金鋼フラットロール製品は数量が微減で単価も 1 割低下したため 2 割減、冷間圧延鋼板は数量が 2 割減、単価も 1 割低下したため 3 割減となった。

- ・非鉄金属 (22 億 2,602 万ドル、同 5.2%減、構成比 3.2%、寄与度▲0.2)

同品目の 4 割弱を占める精製銅または銅合金の塊は、単価が 1 割低下したものの数量が 2 割増加したため 1 割増となった。同品目の 1 割を占める白金は、数量が 1 割減少し単価も 2 割低下した結果 3 割減少した。

- ・金属製品 (13 億 3,942 万ドル、同 14.7%減、構成比 1.9%、寄与度▲0.3)

ボルトは数量 2 割減・単価 1 割低下の結果 3 割減、プレス用・型打ち用・押抜き用の工具は数量は増えたものの単価の低下により 1 割減、金属加工用のナイフおよび刃は単価が若干低下したため微減となった。

- ・織物用糸・繊維製品 (10 億 8,920 万ドル、同 12.5%減、構成比 1.6%、寄与度▲0.2)

同品目の 2 割を占める合成繊維織物、同品目の 1 割を占める紡織用繊維織物がともに数量減少により 1 割減となった。

- ・非金属鉱物製品 (10 億 8,063 万ドル、同 17.1%減、構成比 1.6%、寄与度▲0.3)

同品目の 2 割を占める板ガラスおよび溝型ガラスは単価低下により 2 割減、フロート板ガラスおよび磨き板ガラスは数量減少により 4 割減となった。

⑤ 輸送用機器 (60 億 1,170 万ドル、同 26.1%減、構成比 8.7%、寄与度▲2.7)

- ・自動車 (29 億 1,841 万ドル、同 32.3%減、構成比 4.2%、寄与度▲1.8)

うち乗用車 (29 億 58 万ドル、同 32.3%減、構成比 4.2%、寄与度▲1.8)

乗用車は前年同期の 5 割を超える伸びから一転して金額・数量ともに 3 割減となった。理由としては、中国における乗用車販売の伸び鈍化などが挙げられる。中国の乗用車輸入において日本は、金額ではドイツ・米国・英国に次ぐ 4 位、台数では米国・ドイツに次ぐ 3 位となった。

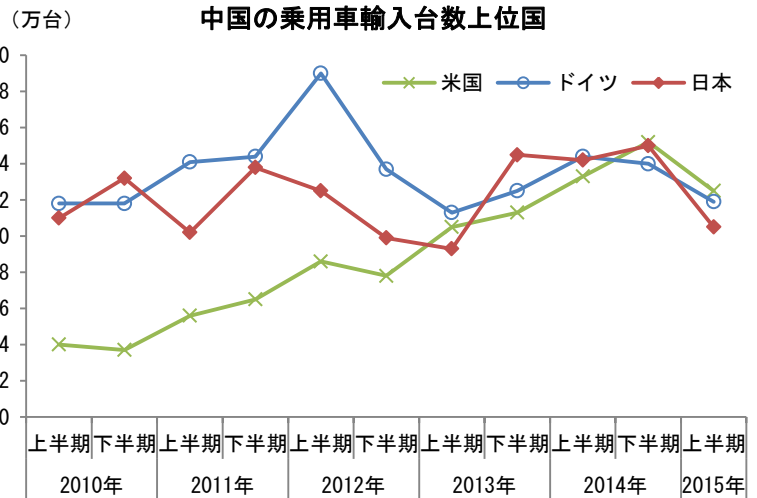
- ・自動車の部分品 (26 億 2,526 万ドル、同 24.9%減、構成比 3.8%、寄与度▲1.1)

同品目の 7 割を占めるギアボックスおよびその部分品が 2 割減、うちオートマチック車用のギアボックスが 2 割減であった。また、ブレーキ、ハンドル、安全エアバッグ、ラジエーター、クラッチなども減少した。

<中国の輸入車市場、前年割れ続く>

日本の乗用車の対中輸出額（中国輸入統計ベース）は前年同期比32.3%減の29億58万ドルとなった。輸出総額に対する寄与度はマイナス1.8ポイントとなった。

中国の輸入乗用車販売はこれまで順調に拡大していたが、2015年上半期に米国・ドイツ・日本の主要3カ国の輸出台数がすべて前年同期比でマイナスに転じた。輸入車の在庫水準が高止まっていることから、2015年下半期も減少傾向が続くとみられる。



⑥ 食料品（2億5,415万ドル、同19.0%増、構成比0.4%、寄与度0.1）

同品目の6割を占める水産品が2割増、うち主要品目のホタテ貝が8割増、数量では2.0倍となった。

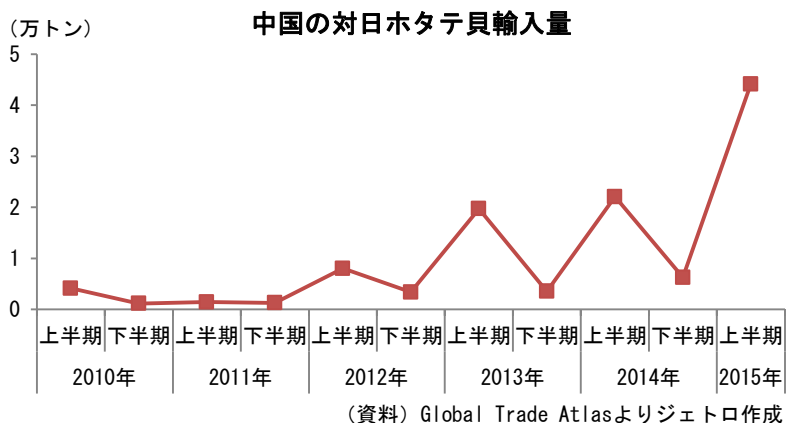
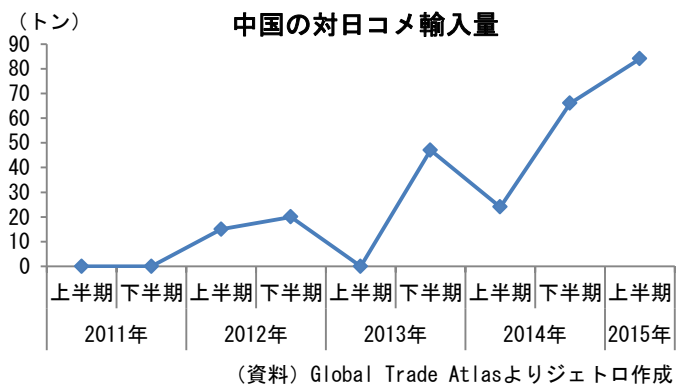
<中国で需要高まる日本のコメ・ホタテ貝>

中国で日本産のコメとホタテ貝の輸入が近年増えている。

日本からの精米の輸出（中国輸入統計ベース）は2015年上半期に前年同期比3.4倍の38万4,000ドル、数量ベースでは同3.6倍の84トンに急増した。米の輸出は上半期より新米が出荷される下半期の方が多いう傾向があり、2015年通年では2014年通年を大きく上回るとみられる。

ホタテ貝の輸出も同様に同84.6%増の9,984万3,729ドル、数量ベースでは同2.0倍の4万4,126トンに増加した。

こうした需要増加の背景には、中高所得者層の増加や円安による日本製品の価格競争力向上があると考えられる。



⑦ その他（71億8,528万ドル、同7.4%減、構成比10.3%、寄与度▲0.7）

・科学光学機器（48億7,700万ドル、同11.6%減、構成比7.0%、寄与度▲0.8）

同品目の5割を占める液晶デバイスが1割減、うち7割を占める液晶パネルは単価が2割低下し、金額も2割減となった。

＜日用消費財の輸入関税引き下げの影響は＞

中国政府は国内の消費需要を喚起するため、「一部の日用消費財の輸入関税を調整することに関する通知」を発表し、6月1日から一部の日用消費財の関税を試験的に引き下げた。対象品目の中には紙おむつやスキンケア商品など中国の輸入に占める日本の構成比が高い品目もある。輸入関税の引き下げが、日本からの輸出を後押しする効果が出るか、下半期の輸出動向が注目される。

輸入暫定税率が引き下げられた品目

（単位：％）

| 品目 | 2015年 最惠国税率 | 6月1日からの 暫定税率 | 日本の 構成比 | 2015年6月の 前年同月比 | |
|--|----------------|-----------------|------------|-------------------|---------|
| | | | | 金額 | 数量 |
| 紙おむつ | 7.5 | 2.0 | 83.8 | 89.5 | 92.8 |
| その他材料が本底の革製またはコンポジションレザー製の その他の履物 | 24.0 | 12.0 | 23.0 | ▲ 90.0 | ▲ 89.7 |
| スキンケア用品 | 6.5 | 2.0 | 16.6 | 54.7 | 87.3 |
| 羊毛製または織獣毛製の男子用オーバーコート、マントなど | 16.0 | 8.0 | 0.6 | 34.2 | 12.5 |
| ゴム・プラスチック・革またはコンポジションレザー本底の革が 革製またはコンポジションレザー製のその他の履物 | 24.0 | 12.0 | 0.5 | 168.3 | 9.4 |
| 羊毛製または織獣毛製の男子用スーツ | 17.5 | 10.0 | 0.3 | 17.0 | ▲ 22.2 |
| 甲がゴム製のその他のゴム・プラスチックの履物 | 24.0 | 12.0 | 0.2 | 4.4 | 124.1 |
| 羊毛製または織獣毛製の女子用オーバーコート、マントなど | 16.0 | 8.0 | 0.1 | 362.2 | 12.5 |
| 甲が紡織用繊維のスポーツ用の履物 | 24.0 | 12.0 | 0.1 | ▲ 53.5 | ▲ 65.2 |
| 甲が紡織用繊維製のその他の履物 | 22.0 | 12.0 | 0.1 | 48.8 | 9.1 |
| その他のゴムまたはプラスチックの履物（くるぶしを覆うもの） | 24.0 | 12.0 | 0.0 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 |
| 毛皮製の衣類 | 23.0 | 10.0 | - | - | - |
| カシミア毛製のプルオーバーなど | 14.0 | 7.0 | - | - | - |
| 羊毛製または織獣毛製の女子用スーツ | 17.5 | 10.0 | - | - | - |

（注）日本の構成比は、2015年1～6月の中国の各品目の輸入総額に占める日本からの輸入の構成比。

（資料）「一部の日用消費財の輸入関税を調整することに関する通知」（税委会[2015]6号）、Global Trade Atlasより
ジェトロ作成

<品目別輸入動向>

～主要品目は軒並み減少、上半期では2009年以來の2桁減～

輸入総額は前年同期比13.1%減の785億769万ドルと減少に転じ、上半期では2009年以來の2桁減となった。ほぼすべての品目で減少し、構成比の高い通信機や音響映像機器(含部品)を中心とした電気機器が11.9%減、電算機類(含周辺機器)を中心とした一般機械が19.6%減と減少幅が大きかった。原材料別製品では、2015年1月施行の中国輸出増値税還付の廃止による駆け込み需要の反動を受けて、鉄鋼が24.9%減少した。衣類・同付属品も、中国から他のアジア諸国・地域への生産移管が進み14.0%減となった。

対中輸入に占める上位5品目は、①**電気機器**(223億8,140万ドル、前年同期比11.9%減、構成比28.5%、寄与度▲3.3)、②**一般機械**(136億4,357万ドル、同19.6%減、構成比17.4%、寄与度▲3.7)、③**原料別製品**(95億1,537万ドル、同10.7%減、構成比12.1%、寄与度▲1.3)、④**衣類・同付属品**(85億301万ドル、同14.0%減、構成比10.8%、寄与度▲1.5)、⑤**化学製品**(46億4,478万ドル、同5.6%減、構成比5.9%、寄与度▲0.3)となった。

<主要品目別動向>

① 電気機器 (223億8,140万ドル、前年同期比11.9%減、構成比28.5%、寄与度▲3.3)

- ・通信機(81億5,743万ドル、同9.1%減、構成比10.4%、寄与度▲0.9)

電話機およびその他機器の約7割を占めるスマートフォンなど携帯電話端末は、単価が低下したことで金額も1割弱の減少となった。基地局は単価が2倍に上昇したが、数量が8割弱減少したため、金額で5割弱の減少となった。

- ・半導体等電子部品(31億3,796万ドル、同13.8%減、構成比4.0%、寄与度▲0.6)

前年上半期に急増した住宅用・非住宅用の光電池(太陽光発電セル)は、単価が2割弱上昇したものの、数量が3割弱、金額も2割近く減少した。太陽光発電固定価格買い取り制度の買い取り価格が低下したことが背景にあるとみられる。

ICのプロセッサおよびコントローラーのうち、ハイブリッドICのものは数量・単価ともに2.5倍となったことで金額は前年同期の6.4倍となった。他方、マイクロコントローラユニットは、単価が2割近く上昇したものの数量が3割以上減少したため、金額が2割減となった。

- ・音響映像機器(含部品)(27億4,404万ドル、同18.7%減、構成比3.5%、寄与度▲0.7)

テレビやラジオを受信するチューナー、カメラ、液晶テレビなど主要品目の輸入金額は軒並み減少した。構成比で3割以上を占めるチューナーは単価が1割近く低下し、金額も2割近く減少した。カメラは数量が1割以上増加したものの、単価が2割近く低下したため金額が減少した。液晶テレビは数量・金額ともに2割減となった。

- ・重電機器(14億4,382万ドル、同12.6%減、構成比1.8%、寄与度▲0.2)

主要品目であるスタティックコンバーターは、数量の減少と単価の低下により、金額が1割以上減少した。電動機および発電機も数量の減少と単価の低下により、金額が1割以上減少した。

② 一般機械 (136億4,357万ドル、同19.6%減、構成比17.4%、寄与度▲3.7)

- ・電算機類(含周辺機器)(63億2,029万ドル、同27.7%減、構成比8.1%、寄与度▲2.7)

ノートパソコンやタブレット型端末など携帯用自動データ処理機が、2014年4月の消費増税やウィンドウズXPのサポート終了前のパソコン買い替えの駆け込み需要の反動などにより、数量が2割減、単価が1割低下し、金額も3割減となった。デジタル複合機は、単価が4割上昇するも数量が3割減少したため、金額が減少した。

③ 原料別製品 (95億1,537万ドル、同10.7%減、構成比12.1%、寄与度▲1.3)

- ・金属製品 (28億182万ドル、同1.2%減、構成比3.6%、寄与度▲0.0)

鉄鋼の構造物およびその部分品は、数量が2割、金額が1割増加した。また、アルミニウムの構造物およびその部分品も、単価は1割低下したものの数量が6割増加し、金額が5割増加した。他方、その他の鉄鋼製品、卑金属製の部分品、鉄鋼製の家庭用品の部分品、鉄鋼製のねじなどは、数量・金額ともに1割程度減少した。

- ・織物用糸・繊維製品 (21億6,711万ドル、同11.3%減、構成比2.8%、寄与度▲0.3)

全体の約2割を占めるトイレタリー・キッチン製品が、数量・金額ともに2割近く減少した。

- ・非鉄金属 (9億303万ドル、同7.4%減、構成比1.2%、寄与度▲0.1)

アルミニウム塊とアルミニウムの箔は数量の増加により金額が微増した。他方、マンガンおよびその製品、銅製の管用継手、銅製の管などは金額が1~3割減少した。

- ・鉄鋼 (8億2,630万ドル、同24.9%減、構成比1.1%、寄与度▲0.3)

構成比の大きいフェロアロイ (合金鉄) の約8割を占めるフェロシリコンは、単価が低下したため金額が1割減となった。2014年に急増したその他の合金鋼の棒やフラットロール製品は、中国側が2015年1月に輸出増値税還付を廃止したことによる駆け込み需要の反動で金額が3~4割減少した。

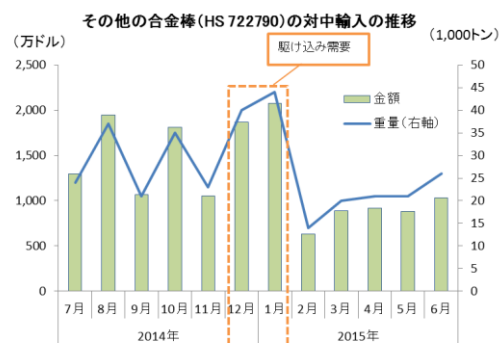
<輸出増値税還付の廃止品目の輸入減少が顕著に>

2015年上半期の鉄鋼の輸入額は前年同期比24.9%減となった。

近年、中国の鋼材輸出は急増しており、各国による貿易救済措置 (アンチダンピング等) が頻発している。急増するボロン鋼の輸出に対する各国の懸念を受け、中国政府は2015年1月より、同鋼材 (中国側輸出HSコード: 72254091、72269191、72279010、72283010) に対する輸出増値税の還付を廃止した。これにより、2014年下半期には同鋼材の駆け込み需要が発生し、また、その反動で2015年に入り輸入額が減少した。

このうち、その他の合金棒 (HS 722790) は、輸入額と数量が2014年12月と2015年1月に増加した後に減少に転じ、駆け込み需要による反動減の傾向が顕著に表れている。

なお、ボロン鋼以外の合金に対する輸出増値税還付は続いており、2015年に入り、還付を受けるためにボロン鋼の代わりにクロムなどを添加し、「その他の合金」として輸出するケースが増加しており、今後の動向が注目される。



(資料) Global Trade Atlas よりジェトロ作成

④ 衣類・同付属品（85億301万ドル、同14.0%減、構成比10.8%、寄与度▲1.5）

主要品目の数量と金額が軒並み減少した。これまで中国で生産が集中していたドレス、ジャケット、スーツなど高付加価値製品は、ベトナムやミャンマーなど ASEAN 諸国などへ生産移管が進んだ結果、減少した。

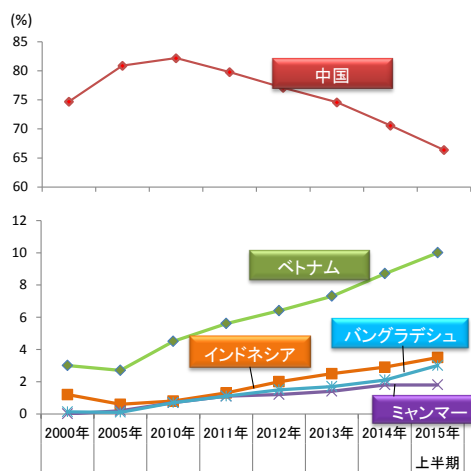
日本の衣類・同付属品の輸入相手国・地域の中で、中国は金額ベースで66.4%を占め、依然最大であるが、構成比は2009年の82.9%をピークに低下し続けている。

＜中国から ASEAN へと労働集約型財の生産移管が加速＞

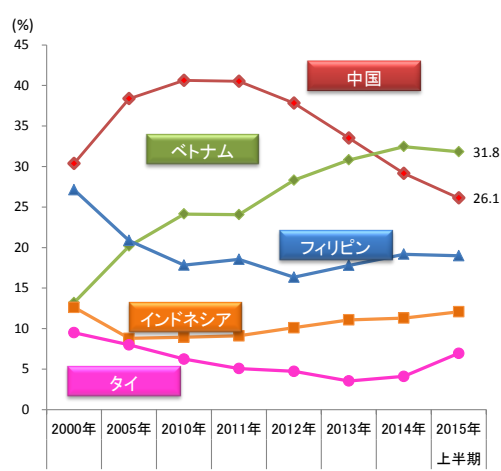
衣類やワイヤーハーネスなど、労働集約型の財の日本への輸入に占める中国の構成比が低下している。衣類・同付属品は中国から ASEAN 諸国へと生産移管が引き続き進展しており、2015年上半期の構成比（金額）は中国が依然トップで6割を超えるものの、2位のベトナム（10.0%）、3位のインドネシア（3.5%）との差は縮小している。

ワイヤーハーネスについても2009年（42.1%）をピークに中国の構成比が低下している。2015年上半期は26.1%に低下し、2014年に中国を追い抜き1位となったベトナムとの差は拡大した。

日本の衣類・同付属品の輸入構成比
（金額、国別）



日本のワイヤーハーネスの輸入構成比
（金額、国別）



（資料）Global Trade Atlas よりジェトロ作成

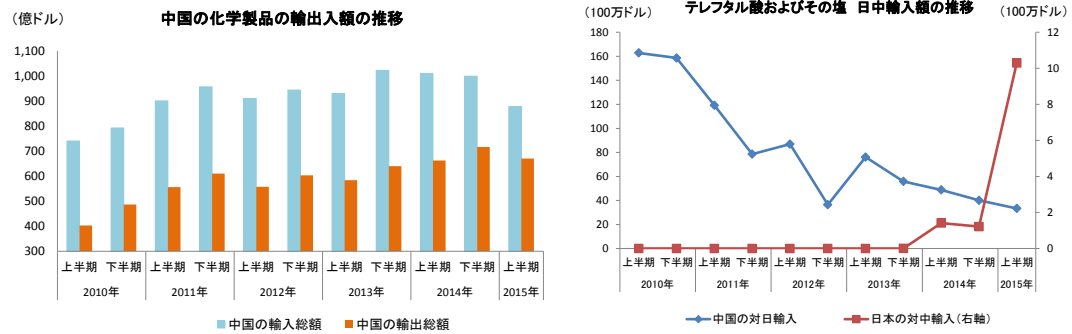
⑤ 化学製品（46億4,478万ドル、同5.6%減、構成比5.9%、寄与度▲0.3）

構成比の3割を占める有機化合物のうち、核酸およびその塩は単価が2割近く上昇したものの、数量が減少したため金額は1割増にとどまった。

ペットボトル原料のポリ（エチレンテレフタレート）と電気電子製品などで広く使われるポリカーボネートは、数量が増加するも単価が2～3割低下したため、金額が1～3割減となった。

＜中国の生産能力増強で一部の化学製品は輸入が急増＞

近年、中国は石油化学製品の生産能力を増強しており、一部の化学製品については調達する側から供給する側に変化しつつある。例えば、ペットボトルの原料となる「テレフタル酸およびその塩」は、中国の対日輸入額が減少傾向にある一方、日本の対中輸入額が急増している。



(資料) Global Trade Atlas よりジェトロ作成

⑥ 食料品 (40 億 4,273 万ドル、同 11.4%減、構成比 5.2%、寄与度▲0.6)

主要品目である魚介類は、魚のフィレやその他の魚肉は数量・金額が 1 割減、えびは数量が 3 割減、単価が 1 割以上低下し、金額も 4 割減となった。野菜は、乾燥野菜の単価の低下と数量の減少により金額が 1 割近く減少した。

⑦ 輸送用機器 (19 億 5,206 万ドル、同 12.8%減、構成比 2.5%、寄与度▲0.3)

- ・自動車の部分品 (12 億 2,716 万ドル、同 13.8%減、構成比 1.6%、寄与度▲0.2)

前年同期は 2014 年 4 月の消費増税前の日本国内の完成車の駆け込み需要があり、その反動から、主要品目では、ブレーキ、駆動軸、バンパーおよび同部分品以外が軒並み減少した。ブレーキは単価の上昇により金額が 1 割近く増加したものの、最大構成比を占める車輪および同部分品は数量の減少と単価の低下により金額が 1 割以上減少した。

〈図表編〉

2015年上半期の日中貿易

図表－1 日中貿易の推移(双方輸入ベース)

(単位:1,000ドル、%)

| | 輸出額 (日本→中国) | 伸び率 | 輸入額 (中国→日本) | 伸び率 | 総額 | 伸び率 | 貿易収支 |
|----------|----------------|--------|----------------|--------|-------------|--------|--------------|
| 2005年 | 100,467,562 | 6.7 | 108,593,916 | 15.0 | 209,061,478 | 10.8 | ▲ 8,126,354 |
| 2006年 | 115,810,926 | 15.3 | 118,437,018 | 9.1 | 234,247,944 | 12.1 | ▲ 2,626,092 |
| 2007年 | 133,903,261 | 15.6 | 127,843,587 | 7.9 | 261,746,848 | 11.7 | 6,059,674 |
| 2008年 | 150,634,070 | 12.5 | 143,657,236 | 12.4 | 294,291,306 | 12.4 | 6,976,834 |
| 2009年 | 130,748,704 | ▲ 13.2 | 122,514,501 | ▲ 14.7 | 253,263,205 | ▲ 13.9 | 8,234,203 |
| 2010年 | 176,304,026 | 34.8 | 153,424,723 | 25.2 | 329,728,749 | 30.2 | 22,879,303 |
| 2011年 | 194,409,771 | 10.3 | 184,128,640 | 20.0 | 378,538,411 | 14.8 | 10,281,131 |
| 2012年 | 177,726,830 | ▲ 8.6 | 188,450,182 | 2.4 | 366,177,012 | ▲ 3.3 | ▲ 10,723,352 |
| 2013年 | 162,219,410 | ▲ 8.7 | 180,840,622 | ▲ 4.0 | 343,060,032 | ▲ 6.3 | ▲ 18,621,212 |
| 2014年 | 162,685,635 | 0.3 | 181,038,865 | 0.1 | 343,724,500 | 0.2 | ▲ 18,353,230 |
| 2013年上半期 | 76,093,078 | ▲ 13.8 | 85,081,304 | ▲ 6.9 | 161,174,382 | ▲ 10.3 | ▲ 8,988,226 |
| 2014年上半期 | 77,995,175 | 2.5 | 90,346,437 | 6.2 | 168,341,612 | 4.5 | ▲ 12,351,262 |
| 2015年上半期 | 69,537,983 | ▲ 10.8 | 78,507,685 | ▲ 13.1 | 148,045,668 | ▲ 12.1 | ▲ 8,969,702 |
| 2015年1月 | 10,914,730 | ▲ 14.0 | 15,053,526 | ▲ 18.2 | 25,968,256 | ▲ 16.5 | ▲ 4,138,796 |
| 2月 | 9,435,213 | ▲ 15.1 | 13,974,583 | 20.0 | 23,409,796 | 2.9 | ▲ 4,539,370 |
| 3月 | 12,799,299 | ▲ 5.6 | 11,457,202 | ▲ 31.5 | 24,256,501 | ▲ 19.9 | 1,342,097 |
| 4月 | 13,066,542 | ▲ 8.7 | 13,373,483 | ▲ 12.1 | 26,440,025 | ▲ 10.4 | ▲ 306,941 |
| 5月 | 10,865,589 | ▲ 15.5 | 11,949,578 | ▲ 14.4 | 22,815,167 | ▲ 14.9 | ▲ 1,083,989 |
| 6月 | 12,456,609 | ▲ 7.5 | 12,699,314 | ▲ 11.9 | 25,155,923 | ▲ 9.7 | ▲ 242,705 |

[注1]輸出額は中国の通関統計による対日輸入額、輸入額は日本の財務省貿易統計による対中輸入額。いずれも貿易データベースGlobal Trade Atlas(ドルベース)を基に作成。

[注2]伸び率は前年同期比。

[注3]機械処理の関係上、他の統計とは計数の値が異なる場合がある。

[参考]為替レート(円/ドル): 2012年 79.8、2013年 97.6、2014年 105.8、2015年上半期120.2。なお、為替レートはインターバンク・レートの中心値の期中平均。

[資料]Global Trade Atlasよりジェトロ作成

図表-2(1)2015年上半期の日本の対中輸出

(単位:1,000ドル、%)

| | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 寄与度 |
|-------------|------------|--------|-------|--------|
| 総額 | 69,537,983 | ▲ 10.8 | 100.0 | ▲ 10.8 |
| 食料品 | 254,148 | 19.0 | 0.4 | 0.1 |
| 原料品 | 1,998,242 | ▲ 14.1 | 2.9 | ▲ 0.4 |
| 鉱物性燃料 | 505,166 | ▲ 29.0 | 0.7 | ▲ 0.3 |
| 化学製品 | 10,887,760 | ▲ 13.1 | 15.7 | ▲ 2.1 |
| 有機化合物 | 3,520,451 | ▲ 22.2 | 5.1 | ▲ 1.3 |
| 医薬品 | 403,703 | ▲ 5.7 | 0.6 | ▲ 0.0 |
| プラスチック | 3,887,268 | ▲ 10.7 | 5.6 | ▲ 0.6 |
| 原料別製品 | 9,439,444 | ▲ 13.4 | 13.6 | ▲ 1.9 |
| 鉄鋼 | 2,914,194 | ▲ 18.1 | 4.2 | ▲ 0.8 |
| 非鉄金属 | 2,226,017 | ▲ 5.2 | 3.2 | ▲ 0.2 |
| 金属製品 | 1,339,418 | ▲ 14.7 | 1.9 | ▲ 0.3 |
| 織物用糸・繊維製品 | 1,089,195 | ▲ 12.5 | 1.6 | ▲ 0.2 |
| 非金属鉱物製品 | 1,080,632 | ▲ 17.1 | 1.6 | ▲ 0.3 |
| ゴム製品 | 503,490 | ▲ 8.3 | 0.7 | ▲ 0.1 |
| 紙類・紙製品 | 250,939 | ▲ 10.0 | 0.4 | ▲ 0.0 |
| 一般機械 | 12,987,223 | ▲ 13.2 | 18.7 | ▲ 2.5 |
| 原動機 | 1,282,454 | ▲ 22.4 | 1.8 | ▲ 0.5 |
| 電算機類(含周辺機器) | 556,450 | 44.0 | 0.8 | 0.2 |
| 電算機類の部分品 | 1,301,656 | ▲ 10.2 | 1.9 | ▲ 0.2 |
| 金属加工機械 | 1,462,641 | ▲ 12.3 | 2.1 | ▲ 0.3 |
| ポンプ・遠心分離機 | 962,328 | ▲ 16.5 | 1.4 | ▲ 0.2 |
| 建設用・鉱山用機械 | 267,216 | ▲ 19.1 | 0.4 | ▲ 0.1 |
| 荷役機械 | 363,580 | ▲ 30.3 | 0.5 | ▲ 0.2 |
| 加熱用・冷却用機器 | 218,977 | ▲ 39.5 | 0.3 | ▲ 0.2 |
| 繊維機械 | 255,282 | ▲ 62.7 | 0.4 | ▲ 0.6 |
| ベアリング | 455,455 | ▲ 6.7 | 0.7 | ▲ 0.0 |
| 電気機器 | 18,731,364 | ▲ 0.1 | 26.9 | ▲ 0.0 |
| 半導体等電子部品 | 7,740,668 | 3.6 | 11.1 | 0.4 |
| IC | 5,698,057 | 9.8 | 8.2 | 0.7 |
| 光電池 | 988,381 | ▲ 18.4 | 1.4 | ▲ 0.3 |
| 映像機器 | 448,121 | ▲ 11.6 | 0.6 | ▲ 0.1 |
| 映像記録・再生機器 | 430,665 | ▲ 10.8 | 0.6 | ▲ 0.1 |
| テレビ受像機 | 17,456 | ▲ 27.8 | 0.0 | ▲ 0.0 |
| 音響機器 | 43,396 | 29.6 | 0.1 | 0.0 |
| 音響・映像機器の部分品 | 545,294 | 3.5 | 0.8 | 0.0 |
| 重電機器 | 1,477,974 | ▲ 4.3 | 2.1 | ▲ 0.1 |
| 通信機 | 1,482,662 | 26.6 | 2.1 | 0.4 |
| 電気計測機器 | 276,836 | ▲ 23.5 | 0.4 | ▲ 0.1 |
| 電気回路等の機器 | 3,156,336 | ▲ 4.0 | 4.5 | ▲ 0.2 |
| 電池 | 437,496 | ▲ 19.7 | 0.6 | ▲ 0.1 |
| 輸送用機器 | 6,011,701 | ▲ 26.1 | 8.7 | ▲ 2.7 |
| 自動車 | 2,918,413 | ▲ 32.3 | 4.2 | ▲ 1.8 |
| 乗用車 | 2,900,583 | ▲ 32.3 | 4.2 | ▲ 1.8 |
| バス・トラック | 14,870 | ▲ 38.5 | 0.0 | ▲ 0.0 |
| 自動車の部分品 | 2,625,262 | ▲ 24.9 | 3.8 | ▲ 1.1 |
| 二輪自動車 | 5,002 | 53.8 | 0.0 | 0.0 |
| 船舶 | 16,033 | ▲ 17.9 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 7,185,284 | ▲ 7.4 | 10.3 | ▲ 0.7 |
| 科学光学機器 | 4,877,002 | ▲ 11.6 | 7.0 | ▲ 0.8 |
| 写真用・映画用材料 | 462,302 | ▲ 6.8 | 0.7 | ▲ 0.0 |
| 記録媒体(含記録済) | 132,453 | ▲ 11.2 | 0.2 | ▲ 0.0 |

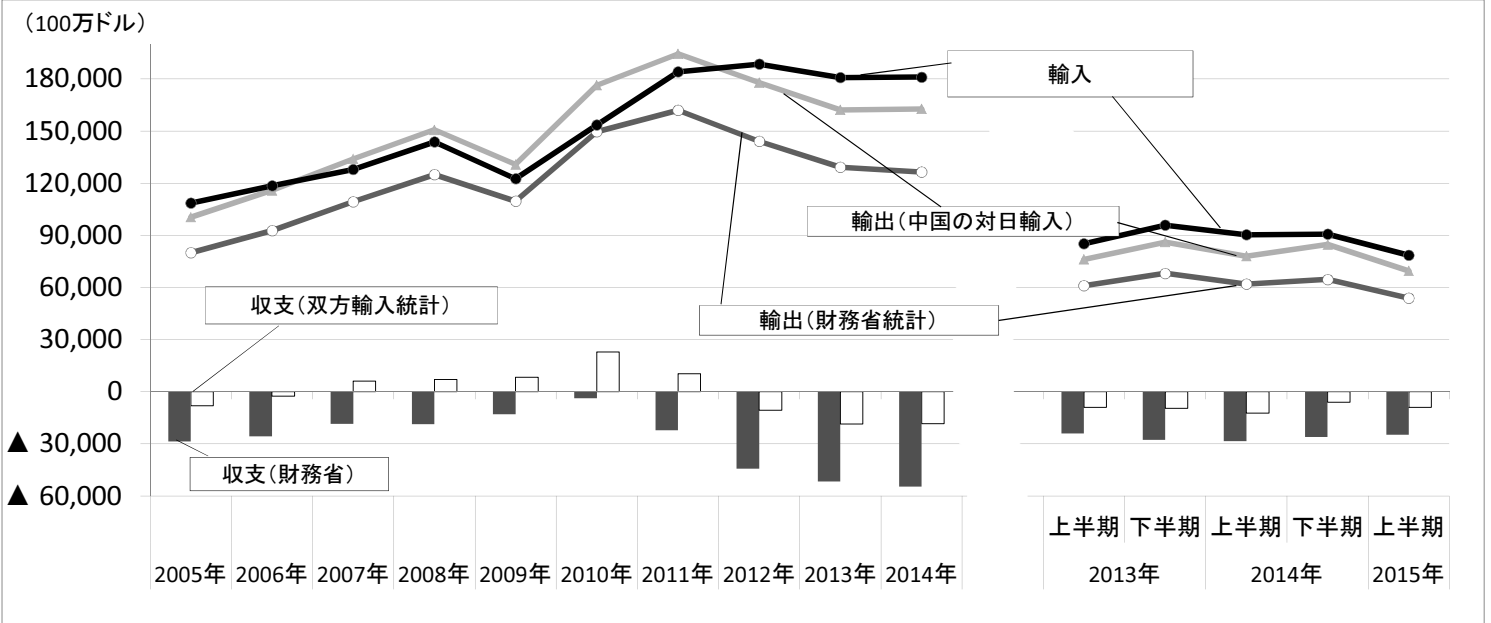
[資料]図表-1に同じ

図表-2(2)2015年上半期の日本の対中輸入

(単位:1,000ドル、%)

| | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 寄与度 |
|-------------|------------|--------|-------|--------|
| 総額 | 78,507,685 | ▲ 13.1 | 100.0 | ▲ 13.1 |
| 食料品 | 4,042,728 | ▲ 11.4 | 5.2 | ▲ 0.6 |
| 魚介類 | 1,221,109 | ▲ 5.4 | 1.6 | ▲ 0.1 |
| えび | 29,527 | ▲ 42.1 | 0.0 | ▲ 0.0 |
| 肉類 | 458,156 | ▲ 24.4 | 0.6 | ▲ 0.2 |
| 穀物類 | 187,016 | 19.1 | 0.2 | 0.0 |
| 野菜 | 1,148,802 | ▲ 8.9 | 1.5 | ▲ 0.1 |
| 果実 | 322,495 | ▲ 8.3 | 0.4 | ▲ 0.0 |
| 原料品 | 904,386 | ▲ 17.3 | 1.2 | ▲ 0.2 |
| 木材 | 99,367 | ▲ 29.1 | 0.1 | ▲ 0.1 |
| 非鉄金属鉱 | 6,531 | ▲ 30.7 | 0.0 | 0.0 |
| 鉄鉱石 | 57 | 128.0 | 0.0 | 0.0 |
| 大豆 | 23,868 | ▲ 10.7 | 0.0 | 0.0 |
| 鉱物性燃料 | 451,317 | ▲ 24.7 | 0.6 | ▲ 0.2 |
| 原油及び粗油 | - | - | - | - |
| 石油製品 | 109,030 | ▲ 30.8 | 0.1 | ▲ 0.1 |
| 揮発油 | 26,602 | ▲ 9.2 | 0.0 | 0.0 |
| 液化天然ガス | - | - | - | - |
| 液化石油ガス | 660 | 217.3 | 0.0 | 0.0 |
| 石炭 | 96,836 | ▲ 29.2 | 0.1 | ▲ 0.0 |
| 化学製品 | 4,644,782 | ▲ 5.6 | 5.9 | ▲ 0.3 |
| 有機化合物 | 1,435,962 | ▲ 2.9 | 1.8 | ▲ 0.1 |
| 医薬品 | 369,729 | ▲ 0.9 | 0.5 | 0.0 |
| 原料別製品 | 9,515,373 | ▲ 10.7 | 12.1 | ▲ 1.3 |
| 鉄鋼 | 826,297 | ▲ 24.9 | 1.1 | ▲ 0.3 |
| 非鉄金属 | 903,031 | ▲ 7.4 | 1.2 | ▲ 0.1 |
| 金属製品 | 2,801,820 | ▲ 1.2 | 3.6 | ▲ 0.0 |
| 織物用糸・繊維製品 | 2,167,114 | ▲ 11.3 | 2.8 | ▲ 0.3 |
| 非金属鉱物製品 | 1,213,779 | ▲ 13.9 | 1.6 | ▲ 0.2 |
| 木製品等(除家具) | 635,927 | ▲ 17.2 | 0.8 | ▲ 0.2 |
| 一般機械 | 13,643,567 | ▲ 19.6 | 17.4 | ▲ 3.7 |
| 原動機 | 588,781 | 19.6 | 0.8 | 0.1 |
| 電算機類(含周辺機器) | 6,320,286 | ▲ 27.7 | 8.1 | ▲ 2.7 |
| 電算機類の部分品 | 1,445,512 | ▲ 19.4 | 1.8 | ▲ 0.4 |
| 電気機器 | 22,381,398 | ▲ 11.9 | 28.5 | ▲ 3.3 |
| 半導体等電子部品 | 3,137,957 | ▲ 13.8 | 4.0 | ▲ 0.6 |
| IC | 598,820 | ▲ 8.0 | 0.8 | ▲ 0.1 |
| 光電池 | 2,135,870 | ▲ 15.6 | 2.7 | ▲ 0.4 |
| 音響映像機器(含部品) | 2,744,040 | ▲ 18.7 | 3.5 | ▲ 0.7 |
| 映像記録・再生機器 | 631,264 | ▲ 12.2 | 0.8 | ▲ 0.1 |
| 重電機器 | 1,443,817 | ▲ 12.6 | 1.8 | ▲ 0.2 |
| 通信機 | 8,157,427 | ▲ 9.1 | 10.4 | ▲ 0.9 |
| 電気計測機器 | 560,228 | ▲ 5.6 | 0.7 | ▲ 0.0 |
| 輸送用機器 | 1,952,064 | ▲ 12.8 | 2.5 | ▲ 0.3 |
| 自動車 | 19,402 | ▲ 12.4 | 0.0 | 0.0 |
| 自動車の部分品 | 1,227,156 | ▲ 13.8 | 1.6 | ▲ 0.2 |
| 航空機類 | 6,509 | 13.8 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 20,972,070 | ▲ 12.4 | 26.7 | ▲ 3.3 |
| 科学光学機器 | 1,444,724 | ▲ 1.8 | 1.8 | ▲ 0.0 |
| 衣類・同付属品 | 8,503,005 | ▲ 14.0 | 10.8 | ▲ 1.5 |
| 家具 | 1,852,686 | ▲ 13.6 | 2.4 | ▲ 0.3 |
| バッグ類 | 1,218,644 | ▲ 12.2 | 1.6 | ▲ 0.2 |

図表-3(1)日中貿易の推移



[資料]図表-1に同じ

図表-3(2)日中貿易の推移

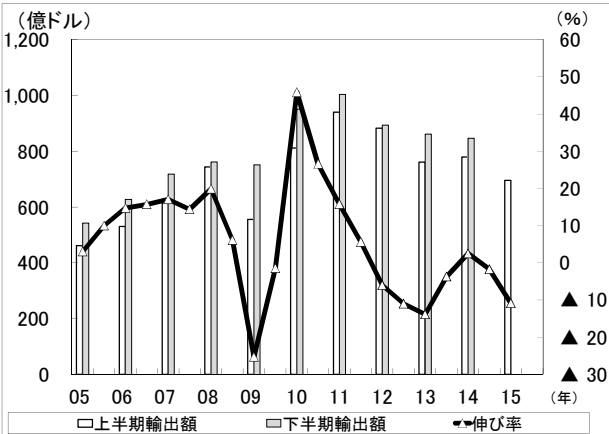
(単位:100万ドル、%)

| | 輸出額 | | | | 輸入額 | | 収支 | |
|-------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|----------|----------|
| | 財務省統計 | 伸び率 | 双方輸入ベース | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 財務省統計 | 双方輸入ベース |
| 2005年 | 79,948 | 8.1 | 100,468 | 6.7 | 108,594 | 15.0 | ▲ 28,646 | ▲ 8,126 |
| 2006年 | 92,722 | 16.0 | 115,811 | 15.3 | 118,437 | 9.1 | ▲ 25,715 | ▲ 2,626 |
| 2007年 | 109,279 | 17.9 | 133,903 | 15.6 | 127,844 | 7.9 | ▲ 18,564 | 6,060 |
| 2008年 | 124,952 | 14.3 | 150,634 | 12.5 | 143,657 | 12.4 | ▲ 18,705 | 6,977 |
| 2009年 | 109,577 | ▲ 12.3 | 130,749 | ▲ 13.2 | 122,515 | ▲ 14.7 | ▲ 12,938 | 8,234 |
| 2010年 | 149,679 | 36.6 | 176,304 | 34.8 | 153,425 | 25.2 | ▲ 3,746 | 22,879 |
| 2011年 | 162,013 | 8.2 | 194,410 | 10.3 | 184,129 | 20.0 | ▲ 22,115 | 10,281 |
| 2012年 | 144,174 | ▲ 11.0 | 177,727 | ▲ 8.6 | 188,450 | 2.4 | ▲ 44,276 | ▲ 10,723 |
| 2013年 | 129,093 | ▲ 10.5 | 162,219 | ▲ 8.7 | 180,841 | ▲ 4.0 | ▲ 51,748 | ▲ 18,621 |
| 2014年 | 126,459 | ▲ 2.0 | 162,686 | 0.3 | 181,039 | 0.1 | ▲ 54,580 | ▲ 18,353 |

| | | 輸出額 | | | | 輸入額 | | 収支 | |
|-------|-----|--------|--------|---------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | | 財務省統計 | 伸び率 | 双方輸入ベース | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 財務省統計 | 双方輸入ベース |
| 2013年 | 上半期 | 60,988 | ▲ 17.1 | 76,093 | ▲ 13.8 | 85,081 | ▲ 6.9 | ▲ 24,093 | ▲ 8,988 |
| | 下半期 | 68,104 | ▲ 3.6 | 86,126 | ▲ 3.7 | 95,759 | ▲ 1.4 | ▲ 27,655 | ▲ 9,633 |
| 2014年 | 上半期 | 61,856 | 1.4 | 77,995 | 2.5 | 90,346 | 6.2 | ▲ 28,491 | ▲ 12,351 |
| | 下半期 | 64,603 | ▲ 5.1 | 84,690 | ▲ 1.7 | 90,692 | ▲ 5.3 | ▲ 26,089 | ▲ 6,002 |
| 2015年 | 上半期 | 53,798 | ▲ 13.0 | 69,538 | ▲ 10.8 | 78,508 | ▲ 13.1 | ▲ 24,709 | ▲ 8,970 |

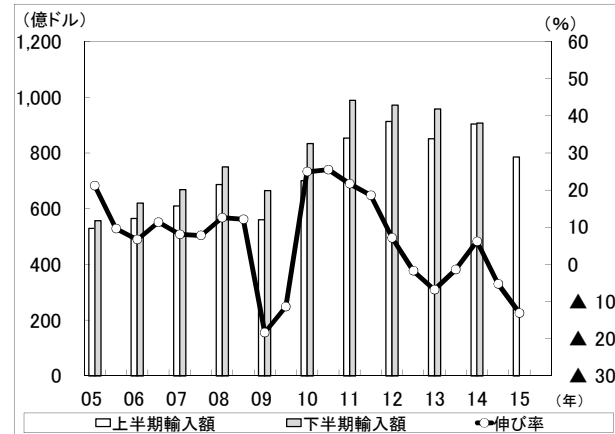
[資料]図表-1に同じ

図表4-1)半期別対中輸出の推移(双方輸入ベース)



[資料]図表-1に同じ

図表4-2)半期別対中輸入の推移



[資料]図表1に同じ

参考資料1 日中貿易の推移(財務省統計)

(単位:1,000ドル、%)

| | 輸出額 | 伸び率 | 輸入額 | 伸び率 | 総額 | 伸び率 | 貿易収支 |
|----------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|--------------|
| 2005年 | 79,948,157 | 8.1 | 108,593,916 | 15.0 | 188,542,073 | 12.0 | ▲ 28,645,759 |
| 2006年 | 92,721,702 | 16.0 | 118,437,018 | 9.1 | 211,158,720 | 12.0 | ▲ 25,715,316 |
| 2007年 | 109,279,167 | 17.9 | 127,843,587 | 7.9 | 237,122,754 | 12.3 | ▲ 18,564,420 |
| 2008年 | 124,952,163 | 14.3 | 143,657,236 | 12.4 | 268,609,399 | 13.3 | ▲ 18,705,073 |
| 2009年 | 109,576,577 | ▲ 12.3 | 122,514,501 | ▲ 14.7 | 232,091,078 | ▲ 13.6 | ▲ 12,937,924 |
| 2010年 | 149,678,986 | 36.6 | 153,424,723 | 25.2 | 303,103,709 | 30.6 | ▲ 3,745,737 |
| 2011年 | 162,013,144 | 8.2 | 184,128,640 | 20.0 | 346,141,784 | 14.2 | ▲ 22,115,496 |
| 2012年 | 144,173,787 | ▲ 11.0 | 188,450,182 | 2.4 | 332,623,969 | ▲ 3.9 | ▲ 44,276,395 |
| 2013年 | 129,092,691 | ▲ 10.5 | 180,840,622 | ▲ 4.0 | 309,933,313 | ▲ 6.8 | ▲ 51,747,931 |
| 2014年 | 126,459,184 | ▲ 2.0 | 181,038,865 | 0.1 | 307,498,049 | ▲ 0.8 | ▲ 54,579,681 |
| 2013年上半期 | 60,988,386 | ▲ 17.1 | 85,081,304 | ▲ 6.9 | 146,069,690 | ▲ 11.4 | ▲ 24,092,918 |
| 2014年上半期 | 61,855,853 | 1.4 | 90,346,437 | 6.2 | 152,202,290 | 4.2 | ▲ 28,490,584 |
| 2015年上半期 | 53,798,470 | ▲ 13.0 | 78,507,685 | ▲ 13.1 | 132,306,155 | ▲ 13.1 | ▲ 24,709,215 |
| 2015年1月 | 8,811,748 | 6.0 | 15,053,526 | ▲ 18.2 | 23,865,274 | ▲ 10.7 | ▲ 6,241,778 |
| 2月 | 7,483,651 | ▲ 28.9 | 13,974,583 | 20.0 | 21,458,234 | ▲ 3.2 | ▲ 6,490,932 |
| 3月 | 9,973,522 | ▲ 11.7 | 11,457,202 | ▲ 31.5 | 21,430,724 | ▲ 23.5 | ▲ 1,483,680 |
| 4月 | 9,379,988 | ▲ 12.2 | 13,373,483 | ▲ 12.1 | 22,753,471 | ▲ 12.1 | ▲ 3,993,495 |
| 5月 | 8,778,701 | ▲ 14.9 | 11,949,578 | ▲ 14.4 | 20,728,279 | ▲ 14.6 | ▲ 3,170,877 |
| 6月 | 9,370,860 | ▲ 12.7 | 12,699,314 | ▲ 11.9 | 22,070,174 | ▲ 12.2 | ▲ 3,328,454 |

[注1]2015年は確報値、ただし2015年6月の輸入は速報値。2014年以前は確定値。

[注2]伸び率は前年同期比。

[資料]図表-1に同じ

参考資料2 2015年上半期の日本の貿易相手国上位5カ国・地域

(単位:100万ドル、%)

| 輸出 | | | | | 輸入 | | | | | 総額 | | | | |
|-------|---------|--------|-------|-------|---------|---------|--------|-------|--------|---------|---------|--------|-------|--------|
| 国名 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 寄与度 | 国名 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 寄与度 | 国名 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 寄与度 |
| 総額 | 314,397 | ▲ 8.1 | 100.0 | ▲ 8.1 | 総額 | 328,973 | ▲ 21.0 | 100.0 | ▲ 21.0 | 総額 | 643,370 | ▲ 15.2 | 100.0 | ▲ 15.2 |
| 米国 | 62,674 | ▲ 0.7 | 19.9 | ▲ 0.1 | 中国 | 78,508 | ▲ 13.1 | 23.9 | ▲ 2.8 | 中国 | 132,306 | ▲ 13.1 | 20.6 | ▲ 2.6 |
| 中国 | 53,798 | ▲ 13.0 | 17.1 | ▲ 2.4 | 米国 | 34,311 | ▲ 4.5 | 10.4 | ▲ 0.4 | 米国 | 96,986 | ▲ 2.1 | 15.1 | ▲ 0.3 |
| 韓国 | 23,104 | ▲ 11.0 | 7.4 | ▲ 0.8 | オーストラリア | 18,426 | ▲ 24.8 | 5.6 | ▲ 1.5 | 韓国 | 37,094 | ▲ 13.9 | 5.8 | ▲ 0.8 |
| 台湾 | 18,498 | ▲ 8.0 | 5.9 | ▲ 0.5 | 韓国 | 13,990 | ▲ 18.4 | 4.3 | ▲ 0.8 | 台湾 | 30,035 | ▲ 6.9 | 4.7 | ▲ 0.3 |
| 香港 | 17,632 | ▲ 2.1 | 5.6 | ▲ 0.1 | サウジアラビア | 13,117 | ▲ 47.6 | 4.0 | ▲ 2.9 | オーストラリア | 24,823 | ▲ 21.7 | 3.9 | ▲ 0.9 |
| EU | 32,346 | ▲ 10.5 | 10.3 | ▲ 1.1 | EU | 33,632 | ▲ 15.4 | 10.2 | ▲ 1.5 | EU | 65,978 | ▲ 13.1 | 10.3 | ▲ 1.3 |
| ASEAN | 48,795 | ▲ 5.5 | 15.5 | ▲ 0.8 | ASEAN | 50,484 | ▲ 15.4 | 15.4 | ▲ 2.2 | ASEAN | 99,280 | ▲ 10.8 | 15.4 | ▲ 1.6 |

[注1]EUは28カ国として計算。

[注2]伸び率は前年同期比。

[資料]図表-1に同じ

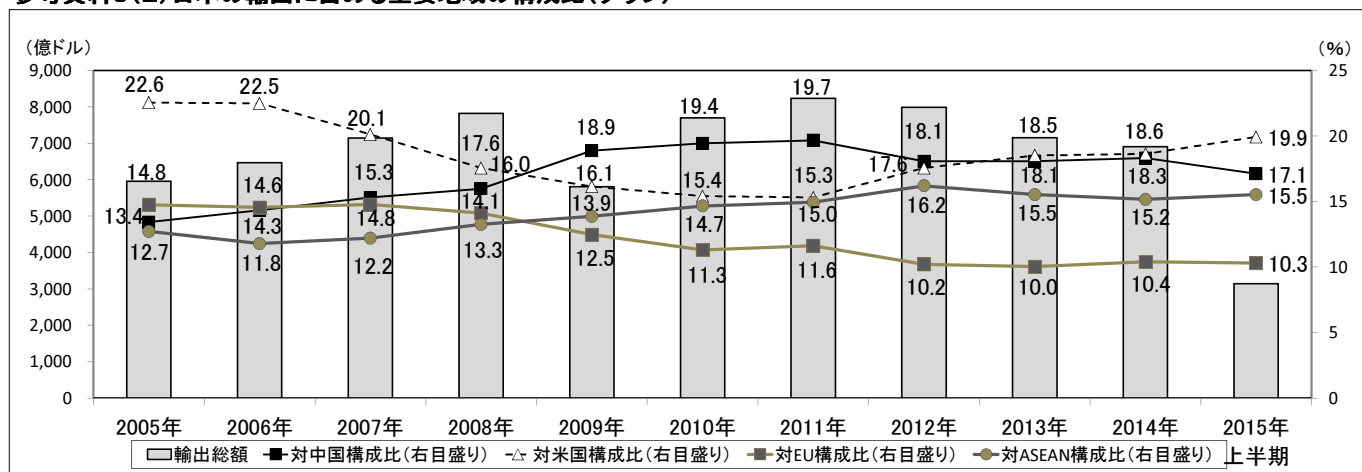
参考資料3(1)日本の輸出に占める中国、米国の構成比

(単位:100万ドル、%)

| | 対世界 | | 対中国 | | | 対米国 | | | 対中国(中国統計対日輸入) | | 対米国(米国統計対日輸入) | |
|----------|---------|--------|---------|--------|------|---------|--------|------|---------------|--------|---------------|--------|
| | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 |
| 2005年 | 595,269 | 5.1 | 79,948 | 8.1 | 13.4 | 134,208 | 5.6 | 22.6 | 100,468 | 6.7 | 138,004 | 6.3 |
| 2006年 | 646,441 | 8.6 | 92,722 | 16.0 | 14.3 | 145,473 | 8.4 | 22.5 | 115,811 | 15.3 | 148,181 | 7.4 |
| 2007年 | 714,126 | 10.5 | 109,279 | 17.9 | 15.3 | 143,664 | ▲ 1.2 | 20.1 | 133,903 | 15.6 | 145,463 | ▲ 1.8 |
| 2008年 | 781,952 | 9.5 | 124,952 | 14.3 | 16.0 | 137,306 | ▲ 4.4 | 17.6 | 150,634 | 12.5 | 139,262 | ▲ 4.3 |
| 2009年 | 580,465 | ▲ 25.8 | 109,577 | ▲ 12.3 | 18.9 | 93,624 | ▲ 31.8 | 16.1 | 130,749 | ▲ 13.2 | 95,804 | ▲ 31.2 |
| 2010年 | 770,046 | 32.7 | 149,679 | 36.6 | 19.4 | 118,675 | 26.8 | 15.4 | 176,304 | 34.8 | 120,552 | 25.8 |
| 2011年 | 823,544 | 7.0 | 162,013 | 8.2 | 19.7 | 126,075 | 6.2 | 15.3 | 194,410 | 10.3 | 128,928 | 7.0 |
| 2012年 | 798,447 | ▲ 3.1 | 144,174 | ▲ 11.0 | 18.1 | 140,096 | 11.1 | 17.6 | 177,727 | ▲ 8.6 | 146,432 | 13.6 |
| 2013年 | 714,866 | ▲ 10.5 | 129,093 | ▲ 10.5 | 18.1 | 132,400 | ▲ 5.5 | 18.5 | 162,219 | ▲ 8.7 | 138,574 | ▲ 5.4 |
| 2014年 | 690,824 | ▲ 3.4 | 126,459 | ▲ 2.0 | 18.3 | 128,785 | ▲ 2.7 | 18.6 | 162,686 | 0.3 | 134,004 | ▲ 3.3 |
| 2015年上半期 | 314,397 | ▲ 8.1 | 53,798 | ▲ 13.0 | 17.1 | 62,674 | ▲ 0.7 | 19.9 | 69,538 | ▲ 10.8 | 66,873 | 0.5 |

[資料]図表-1に同じ

参考資料3(2)日本の輸出に占める主要地域の構成比(グラフ)



[資料]図表-1に同じ

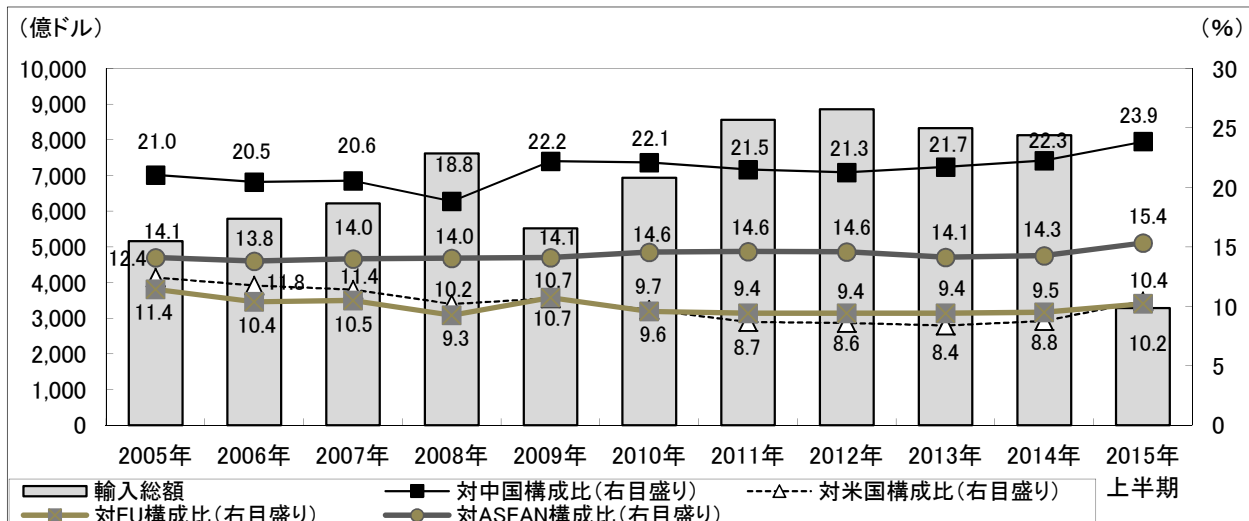
参考資料4(1)日本の輸入に占める米国、中国の構成比

(単位:100万ドル、%)

| | 対世界 | | 対中国 | | | 対米国 | | |
|--------------|---------|--------|---------|--------|------|--------|--------|------|
| | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 構成比 | 金額 | 伸び率 | 構成比 |
| 2005年 | 516,202 | 13.3 | 108,594 | 15.0 | 21.0 | 64,199 | 2.6 | 12.4 |
| 2006年 | 578,783 | 12.1 | 118,437 | 9.1 | 20.5 | 68,011 | 5.9 | 11.8 |
| 2007年 | 622,072 | 7.5 | 127,844 | 7.9 | 20.6 | 70,939 | 4.3 | 11.4 |
| 2008年 | 762,488 | 22.6 | 143,657 | 12.4 | 18.8 | 77,667 | 9.5 | 10.2 |
| 2009年 | 551,788 | ▲ 27.6 | 122,515 | ▲ 14.7 | 22.2 | 58,959 | ▲ 24.1 | 10.7 |
| 2010年 | 694,297 | 25.8 | 153,425 | 25.2 | 22.1 | 67,443 | 14.4 | 9.7 |
| 2011年 | 856,046 | 23.3 | 184,129 | 20.0 | 21.5 | 74,485 | 10.4 | 8.7 |
| 2012年 | 885,838 | 3.5 | 188,450 | 2.4 | 21.3 | 76,237 | 2.4 | 8.6 |
| 2013年 | 832,628 | ▲ 6.0 | 180,841 | ▲ 4.0 | 21.7 | 69,825 | ▲ 8.4 | 8.4 |
| 2014年 | 812,954 | ▲ 2.4 | 181,039 | 0.1 | 22.3 | 71,386 | 2.2 | 8.8 |
| 2015年 上半期 | 328,973 | ▲ 21.0 | 78,508 | ▲ 13.1 | 23.9 | 34,311 | ▲ 4.5 | 10.4 |

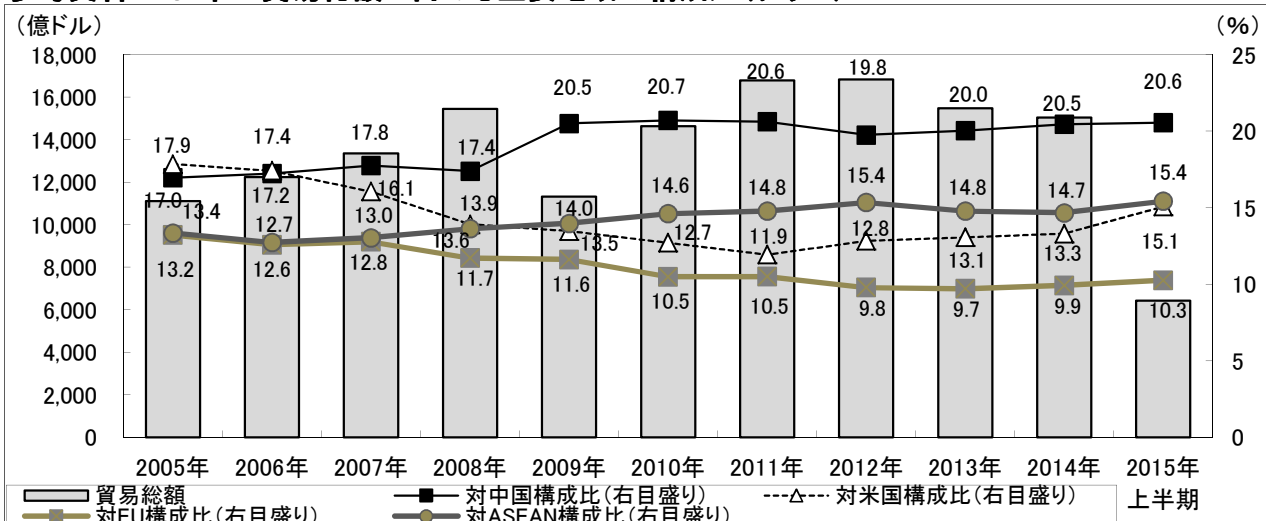
[資料]図表-1に同じ

参考資料4(2)日本の輸入に占める主要地域の構成比(グラフ)



[資料]図表-1に同じ

参考資料5 日本の貿易総額に占める主要地域の構成比(グラフ)



[資料]図表-1に同じ

アンケート返送先 FAX : 03-3582-5309

e-mail : ORG@jetro.go.jp

日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛

JETRO

● ジェトロアンケート ●

調査タイトル : 2015 年上半期の日中貿易

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

- 質問1 : 今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？ (○をひとつ)

4 : 役に立った 3 : まあ役に立った 2 : あまり役に立たなかった 1 : 役に立たなかった

- 質問2 : ①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関する感想をご記入下さい。

| |
|--|
| |
|--|

- 質問3 : 今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

| |
|--|
| |
|--|

- お客様の会社名等をご記入ください。(任意記入)

| | | |
|-----|--------------------------------|--------|
| ご所属 | <input type="checkbox"/> 企業・団体 | 会社・団体名 |
| | | 部署名 |
| | <input type="checkbox"/> 個人 | 会社・団体名 |
| | | 部署名 |

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～